

経営協議会を開催！

新幹線地本は、平成30年4月10日（火）、新幹線鉄道事業本部と経営協議会を開催しました。会社から、平成30年度実行計画の説明を受けた後、新幹線地本成田委員長から下記の質問を行い議論しました。

【1. 安全について】

昨年12月11日に発生した「のぞみ34号」の台車亀裂は新幹線初の「重大インシデント」として認定された。新幹線の安全を確保するという労使の共通課題のためにも認識を一致させなければならないと考える。「新幹線 spirit」が改定され「勇気」として「迷いが生じたときは安全を守るための行動をためらわない」と説いている。これまで現場の裁量権を認めてこなかった現れであるとも言える。労働組合としても重要な事と考えるので徹底すると共に、現場の判断を重視することを要請する。

【2. 新幹線車内業務の見直しについて】

ダイヤ改正から新幹線車内業務の見直しが実施され約一ヶ月経過したが、問題点や改善すべき点があるのか明らかにされたい。

【3. 外国人旅行客の増加対策について】

東京オリンピックを控え、更に外国人旅客が増加すると思われるが、会社として何らかの対策を考えているのか明らかにされたい。

【4. 労働災害について】

大井車両基地において関係会社の社員が大怪我をする労働災害が発生した。検修庫の老朽化によるものと考えるが、会社が考えている検修庫の老朽化対策について明らかにされたい。

【5. 災害対策について】

地震対策の脱線防止ガードの改良工事の進捗状況について明らかにされたい。また、津波に対する規程がないことに対する会社の見解を明らかにされたい。

【6. 勤務について】

今年度の休日出勤の見通しについて明らかにされたい。年休の発給状況が職場によって差があるので改善されたい。休日指定予定日を前月の1日に発表されたい。就業規則に基づき、前月の25日に勤務確定したものを発表されたい。

【7. 労使関係について】

組合からの申し入れに対して、速やかに協議の場を設けられたい。苦情申告されたものは、苦情処理会議を開催されたい。プレス発表やホームページに掲載する情報は、事前に組合に明らかにされたい。

*** 議論内容についてはシリーズでお知らせします。**